

10 建築とアーキテクチャ

建築ITコミュニケーションデザイン論 第10回

本江正茂

2016-06-29 (水)

人々の行動を管理する

Q: やめさせたいこと?

すべり台「きょうはつかえません」

近代的な施設=制度 Institution : 学校、病院、工場、軍隊

- 個人単位、クラス分け、
- だんだん上手になるカリキュラム
- 時計台、チャイム、時間割、
- 点呼、出欠、遅刻早退の禁止
- 朝礼、宿題、試験、一斉放送、訓練、体操
- 制服、整列、
- 厚生活動、季節の行事、部活動...etc.

パノプティコン panopticon 一望監視装置

- '18世紀末に功利主義者のベンサムが効率的な監獄のために発案
- 近代管理システムのモデルとしてのパノプティコン
 - ミシェル・フーコー『監獄の誕生 -- 監視と処罰』
 - 規律=訓練的 (disciplinary=しつけ) な処罰、監視
 - 近代的な管理システム=監視社会の一般的モデル
- まなざしの経済の逆転:見られているが見えない
 - e.g. 壮麗な王の身体→教室の後ろに立つ試験監督
 - 「権力の自動化」=見られていることの永続状態。権力の眼の内面化
 - 「独房的な個人」=まなざしの反射による自己反省の回路
- 誰もいない赤信号で止まる: 遵法精神の内面化
 - 一極集中の強制型権力ではなく、遍在型で主体構成型の近代権力

法、社会の規範、市場、アーキテクチャ

- ローレンス・レッシング

- 問題行動に課されるコストによる規制、制約条件
- 規制はこれらの4つの合計になる。相互依存的。

四つの規制手段

- 規範、慣習 Norms : 暗黙のうちに内面化されたルール
- 法律 Law : 明文化されたルール

- 市場 Market：価格に従って人々の行動が規制調整される
- アーキテクチャ Architecture：環境の設計に従って人々の行動が規制調整される

e.g. 喫煙のコントロール

:- 法：20歳以下喫煙禁止

- 規範：人ごみで喫煙するな
- 市場：煙草の価格
- アーキテクチャ：フィルタなし、無煙、つよい匂い

例題1 キセル乗車を4つの制約条件から規制するには？

:-> 厳罰化、しつけ強化、運賃低廉化、自動改札化

例題2 飲酒運転を4つの制約条件から規制するには？

アーキテクチャによる規制の事例

- ファストフード店の回転率操作：冷房、椅子、BGM
- スキポール空港の便所の蠅
- シカゴ、レイクショアドライブ（ミースの860/880の脇）の車間線
- fool-proof: SDカード、フロッピーディスク。向きが違くと挿せない。
- ゆりかもめの新型車両の椅子 「新型車両の座席は、座る面をひざ側に9度上向くようにした。こうすると、座った人は自然にかかとを引く姿勢になるという。」
- 酔っ払いがホームに落ちるのは？ ベンチを線路に直行させる。JR西日本
- 大人には聴こえない高周波数の着信音、「モスキート」

アーキテクチャによる規制の特徴

- 任意の行為の可能性を「物理的」に封じるので、ルールや価値観を被規制者の側に内面化させるプロセスが必要ない。
- 規制の存在を気付かせることなく、被規制者が「無意識」のうちに規制を働き掛けることができる。
- 強力かつ低コスト。ただし局地的。

CODE

- ネットワークでは、アーキテクチャはコード（プログラム）で与えられる。
: e.g. DRM、パレンタルフィルタ
- コードが権力であることに無自覚に、市場の要請とエンジニアの熱意だけで作られてしまう。
- 古い「法」 vs 新しい「アーキテクチャ」

規律訓練型権力から環境管理型権力へ by 東浩紀

- 規律訓練型権力は『人々に規範を植え付けるため』監禁環境（学校、病院）を必要とする
- 環境管理型権力は「個人の行動を数字に置き換えて直接に制御する。」
e.g. 電子カードキー。場合によって入れたり入れなかったり。ネット技術が環境管理型権力を実体化する。

「視線の内面化による規律訓練を通じた秩序維持から、個人認証と情報処理による環境管理を通じた秩序維持へ」

「内包社会」から「排除社会」へ

- 配慮なしに生きられる安穏な世界 e.g. ゲートッドコミュニティ
- 「安全」と引き換えに失うものは何か？
- 「モスキート」による不良滞在者の排除
 - 市民は虫なのか？
 - そこで選挙をやる意味はあるのか？
- ベンチの中仕切り、駅のホームドア

我々が業とする環境＝アーキテクチャの設計という行為の権力性を自覚すること

参考文献

- ミシェル・フーコー『監獄の誕生——監視と処罰』田村俣訳、新潮社、1977
- 瀧本雅志「パノプティコンを認知させた権力の技術論」『建築の書物/都市の書物』五十嵐太郎編、INAX出版、1999 『10+1』1994年秋号、特集「制度/プログラム/ビルディングタイプ」INAX出版、1994
- ローレンス・レッシング『CODE インターネットの合法・違法・プライバシー』山形浩生、柏木亮二訳、翔泳社、2001
- 東浩紀「情報自由論」『情報環境論集』講談社、2007。http://www.hajou.org/infoliberalism/
- 濱野智史『アーキテクチャの生態系』NTT出版、2008
- 大人には聴こえない着信音 http://blog.livedoor.jp/saitama_orz/archives/50506860.html

例題2の答え：飲酒運転の規制

- 規範：教習所の教育ビデオ
- 法律：道路交通法違反での罰点
- 市場：罰金の金額を上げていく
- アーキテクチャ：エンジンをかける前に息に含まれるアルコールをチェック